# 業務デザイナー機能説明書 マスター定義編

# 目次

マスター定義	3
マスター定義とは	
マスター定義の検索	
マスター定義の作成	5
マスターデータ自動取込設定	10
マスター定義の複写	13
マスター定義の変更	15
マスター定義の削除	18
マスター定義のエクスポート	19
マスターデータのエクスポート	21
マスター定義のインポート	
マスターデータのインポート	
· / · / · / · / · / · / · · · · · · · ·	

# マスター定義

帳票やフローで、参照・登録などができる独自のマスターを定義する機能です。

## マスター定義とは

マスター定義は帳票で選択岐(ドロップダウン設定の項目種別「USER フォーム」)を利用する目的などで設定するデータを管理するための定義となります。

マスター定義に、データを登録できる機能には以下のものがあります。

- マスター定義一覧のデータインポート機能
- マスターデータ連携を利用し、フロー運用中に登録
- WEBのマスターデータ設定の機能/インポート機能

# マスター定義の検索

**1.** [申請フロー運用] メニュータブの [マスター定義] ボタンをクリックする 【マスター定義一覧画面の検索条件エリア】

☆ マスター定義一覧							
①マスターID							
②マスター名							
	検索						

#### 【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	マスターID	文字	50	マスターID を部分一致で検索します。
2	マスター名	文字	40	マスター名を部分一致で検索します。

#### **2.** 入力後、[検索] ボタンをクリックする

#### 【マスター定義一覧画面】



#### 【項目の説明】

No.	項目名	説明
1	作成	クリックすると、マスター定義画面に遷移し、新たにマスター定義を作成します。
2	複写	クリックすると、マスター定義画面に遷移し、選択したマスター定義を複写します。
3	変更	クリックすると、マスター定義画面に遷移し、選択した行のマスター定義の内容を変更できます。選 択した行をダブルクリックした場合も同様です。
4	削除	クリックすると、選択した行のマスター定義を削除します。
5	定義エクスポート	クリックすると、選択した行のマスター定義をファイルにエクスポートします。
6	データエクスポート	クリックすると、選択した行のマスター定義のマスターデータをファイルにエクスポートします。
7	定義インポート	クリックすると、マスター定義インポート画面に遷移します。
8	データインポート	クリックすると、マスターデータインポート画面に遷移します。

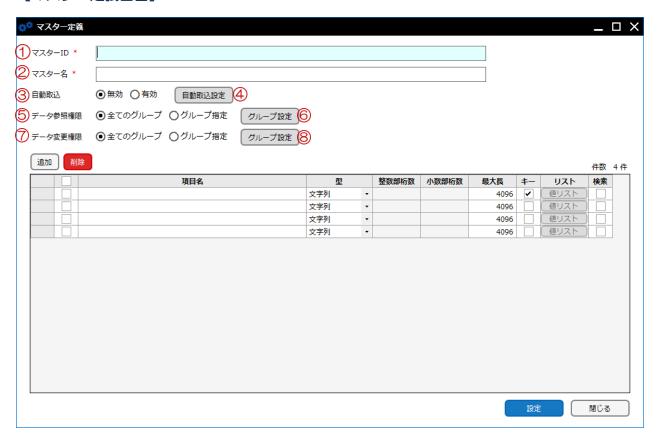
# マスター定義の作成

#### 1. [作成] ボタンをクリックする

🐡 マスター定義一覧			_ 🗆 X
マスターID マスター名			
		検索	件数 0件
マスターID	マスター名	データ件数 最終更新日時	最終更新者
作成複写	変更削除定義エクスポート	データエクスポート 定義インポート	データインポート 閉じる

## 2. マスター定義を設定する

【マスター定義画面】



#### 【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	マスターID	文字	50	作成するマスター定義のマスターID を入力します。
2	マスター名	文字	40	作成するマスター定義のマスター名を入力します。
3	自動取込	-	-	自動取込の設定が有効かを以下のリストより選択します。 ・無効 ・有効
4	自動取込設定	-	-	[自動取込]が「有効」の場合は、[自動取込設定]ボタンをクリックすると、マスターデータ自動取込設定画面に遷移します。 内容の詳細説明については、[マスターデータ自動取込設定]をご参照ください。
5	データ参照権限	-	-	データ参照権限を以下のリストより選択します。 <ul><li>全てのグループ</li><li>グループ指定</li></ul>
6	グループ設定	-	-	[データ参照権限] が「グループ指定」の場合は、[グループ設定] ボタンを クリックすると、グループ選択画面に遷移します。
7	データ変更権限	-	-	データ変更権限を以下のリストより選択します。 <ul><li>全てのグループ</li><li>グループ指定</li></ul>
8	グループ設定	-	_	[データ変更権限] が「グループ指定」の場合は、[グループ設定] ボタンを クリックすると、グループ選択画面に遷移します。

## 【マスター定義画面(マスター管理項目一覧)】

1 2									
追加削除	3	4		<b>(5)</b>	6	7	8	9	件数 4件
	項目名	型		整数部桁数	小数部桁数	最大長	‡-	リスト	検索 (10)
		文字列	-			4096	~	値リスト	
		文字列	-			4096		値リスト	
		文字列	-			4096		値リスト	
		文字列	-			4096		値リスト	

#### 【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	追加	-	-	定義する項目の設定行を、最終行に追加します。
2	削除	-	-	口にチェックした定義項目行を削除します。複数行の削除が可能です。
3	項目名	文字	255	項目名を入力します。
4	型	-	-	設定する型を以下のリストより選択します。 ・数値 ・文字列 ・日付 ・リスト
5	整数部桁数	数値	2	[型] が「数値」の場合は、整数部桁数を入力します。
6	小数部桁数	数值	2	[型] が「数値」の場合は、小数部桁数を入力します。
7	最大長	数值	4	[型] が「文字列」の場合は、文字数を入力します。
8	+-	-	-	キーに設定する場合は、口をチェックします。
9	リスト	-	-	[型] が「リスト」の場合は、[値リスト] ボタンをクリックすることにより、マスター定義-値リスト画面に遷移します。
10	検索	_	-	口をチェックすると、検索対象の定義項目になります。

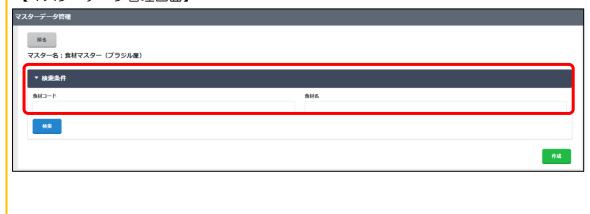
# マスターデータ管理の検索条件について

各行の検索チェックボックスにチェックすると、マスターデータを編集できます。WEB のマスター管理画面で、検索条件として利用することができます。

#### 【マスターデータ定義画面】

項目名	型		整数部桁数	小数部桁数	最大長	‡-	リスト	検索
食材コード	文字列	•			5	~	値リスト	
食材名	文字列	•			10		値リスト	
単価	数值	•	3	2			値リスト	
製造年月日	日付	•					値リスト	
食材区分	リスト	•					値リスト	

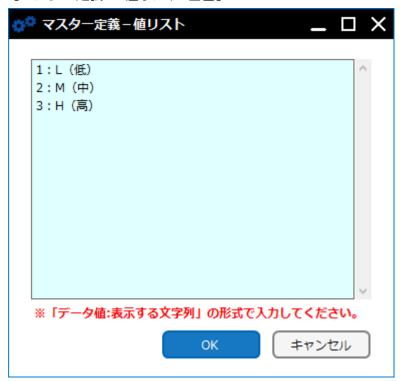
#### 【マスターデータ管理画面】



# ポイント 値リストの設定

WEB のマスターデータ登録画面で、決まったリストから選択しデータを登録したい場合、該当項目の [値リスト] ボタンをクリックして遷移する [マスター定義 - 値リスト画面] で、リストの設定を行います。

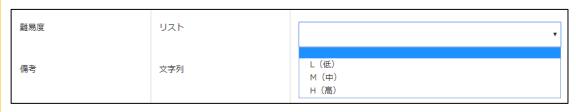
【マスター定義 - 値リスト 画面】



リストは、「データ値:表示する文字列」を改行で区切って入力してください。 「データ値」はデータベースに保存され、「表示する文字列」は WEB 上に表示されます。

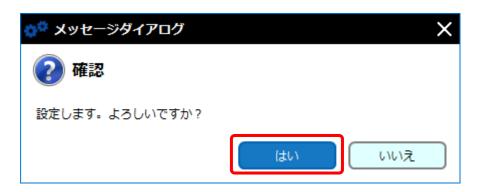
値リスト画面で設定した内容は、WEB 画面:マスターデータ登録画面で以下のように表示されます。

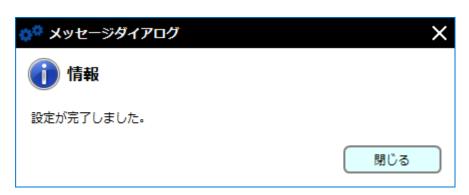
#### 【マスターデータ登録画面】



#### **3.** [設定] ボタンをクリックする







#### マスターデータ自動取込設定

マスターデータのファイルを毎日決まった時刻に自動で取り込むように設定する機能です。

#### 1. マスター定義画面の [自動取込設定] ボタンをクリックする



#### **2.** 入力を行い、[OK] ボタンをクリックする

【マスターデータ自動取込設定画面】



#### 【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	取得方法	-	-	<ul><li>取込方法を以下のリストより選択します。</li><li>・FTP</li><li>・ファイルコピー</li><li>外部のサーバーのファイルから取り込む場合は、[FTP] を、自サーバーから取り込む場合は、[ファイルコピー] を選択してください。</li></ul>
2	取込時刻	-	-	取込をする時刻に設定します。
3	最終取込日時	-	-	最終取込日時が表示されます。
4	次回取込日時	-	-	次回取込日時が表示されます。
5	文字コード	-	-	文字コードを以下のリストより選択します。 ・SJIS ・EUC-JP ・UTF-8
6	取込設定	-	-	取込設定を以下のリストより選択し、口をチェックします。 ・1 行目のヘッダーをスキップ ・取込時、全データ削除 1 行目が項目名などである場合は、「1 行目のヘッダーをスキップ」をチェックしてください。 すでに登録されているデータを削除してから取り込みたい場合は、「取込時、全データ削除」をチェックしてください。
7	通知メールアドレス	文字	255	通知するメールアドレスを入力します。
8	メール通知	-	-	メール通知をする条件を以下のリストより選択します。 ・失敗のみ ・成功・失敗両方

## 【取得方法:FTP】

取得方法 *	FTP	<b>v</b>
FTP接続方法	①IPアドレス *	
	②ユーザーID *	③/tスワード *
④FTPファイル名 * ?		

# 【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	IPアドレス	文字	15	IP アドレスを入力します。
2	ユーザーID	文字	32	ユーザーID を入力します。
3	パスワード	文字	32	パスワードを入力します。
4	FTP ファイル名	文字	255	ファイル名を入力します。全角文字は入力できません。ルートからの絶対パスを指定してください。

## 【取得方法:ファイルコピー】

取得方法 *	ファイルコピー・
1)ファイル名 * 👩	

## 【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	ファイル名	文字	255	ファイル名を入力します。全角文字は入力できません。サーバーから接続可能な絶対パスを指定してください。指定できるパスは自サーバー内のドライブに限ります。

### マスター定義の複写

#### 1. マスター定義を選択し、[複写] ボタンをクリックする



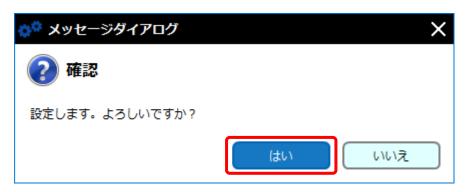
## 2. 内容の変更を行い、[設定] ボタンをクリックする

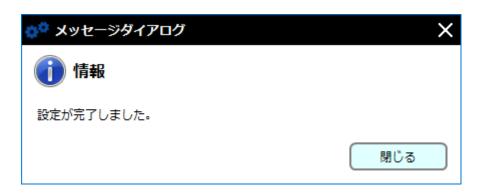


入力内容説明については、[マスター定義の作成]をご参照ください。

# 

複写元のマスター定義にすでにマスターデータが登録されている場合でも、マスターデータ は複写されません。





#### マスター定義の変更

#### 1. マスター定義を選択し、[変更] ボタンをクリックする



#### 2. 内容の変更を行い、[設定] ボタンをクリックする



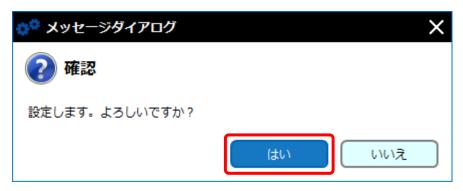
入力内容説明については [マスター定義の作成] をご参照ください。

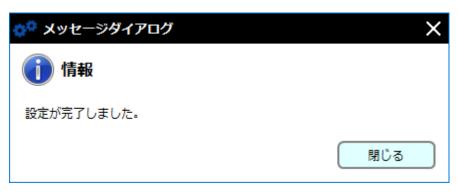




すでに登録済みのマスター管理項目に対して変更できるのは「項目名」「値リスト」「検索」 のみであり、項目を削除することもできません。

なお、新たに項目を追加することは可能です。

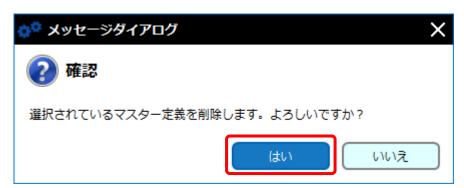


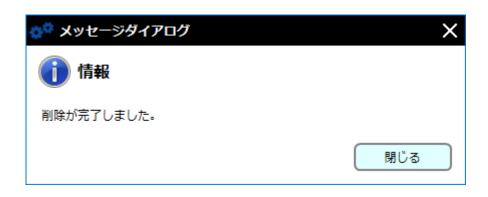


#### マスター定義の削除

#### 1. マスター定義を選択し、[削除] ボタンをクリックする





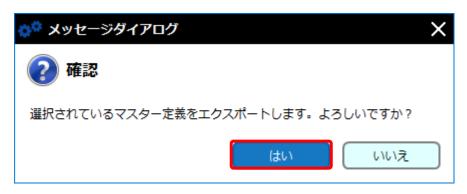


## マスター定義のエクスポート

作成されたマスター定義をテスト機から本番機に移行する場合は、エクスポート・インポートの機能を利用してより簡単に定義の移行をすることができます。

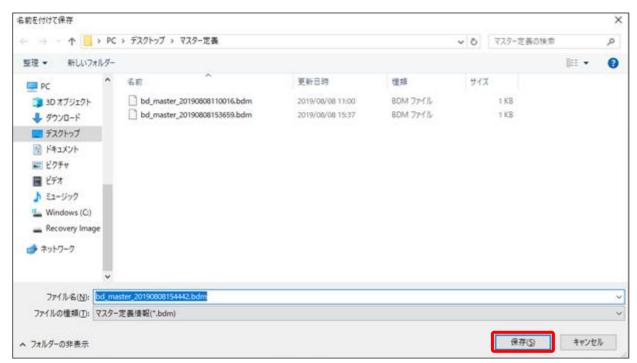
#### 1. マスター定義を選択し、[定義エクスポート] ボタンをクリックする

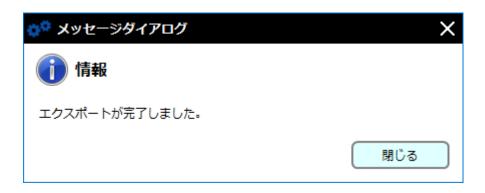




#### 3. 任意の場所に名前を付けて保存する

ファイルの種類は、[マスター定義情報(\*.bdm)] として保存されます。

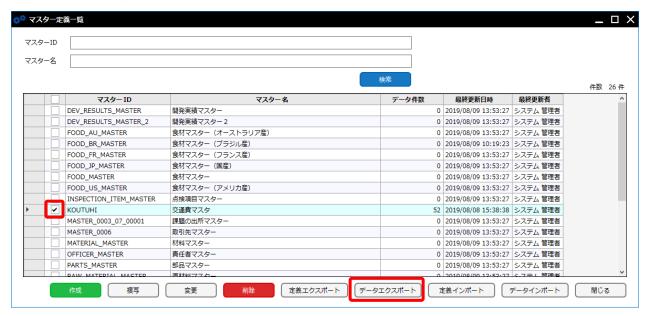


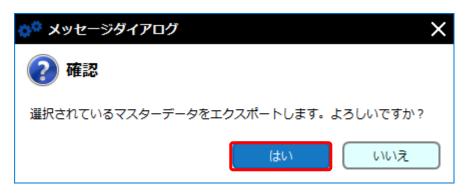


## マスターデータのエクスポート

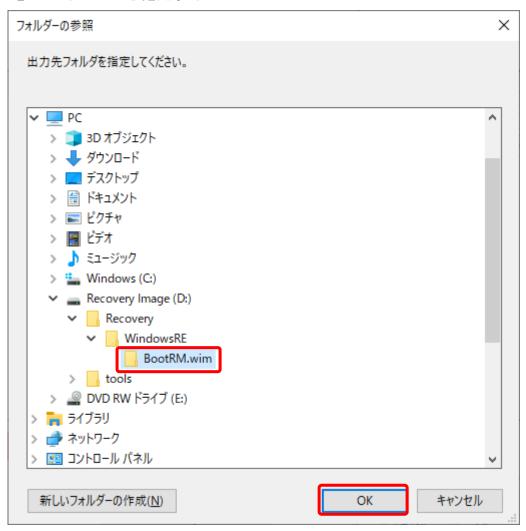
該当のマスター定義にマスターデータが登録されている場合は、そのマスターデータをエクスポート・インポートの機能を利用してより簡単に移行することができます。

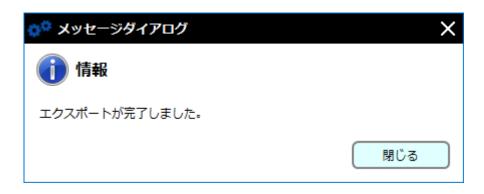
#### 1. マスター定義を選択し、[データエクスポート] ボタンをクリックする





#### 3. 任意のフォルダーを指定する





# ポイント エクスポートファイルの型式について

エクスポートされたマスターデータはマスター定義ごとに「UTF-8 (BOM 付き)」の CSV ファイルで出力されます。

エクスポートデータを UTF-8の CSV に未対応の Excel(※1)で編集する場合、以下のような現象となり、インポートできなくなります。ご注意ください。

- Excel で編集後、「名前を付けて保存」で保存しない場合、CSV 型式として保存されません。
- Excel で編集後、「名前を付けて保存」で保存した場合でも、文字コードが SJIS に変換され、文字化けすることがあります。

(※1) Excel2013 以前、及び Excel2016 のバージョン 1610 (ビルド 7466.2038) 未満

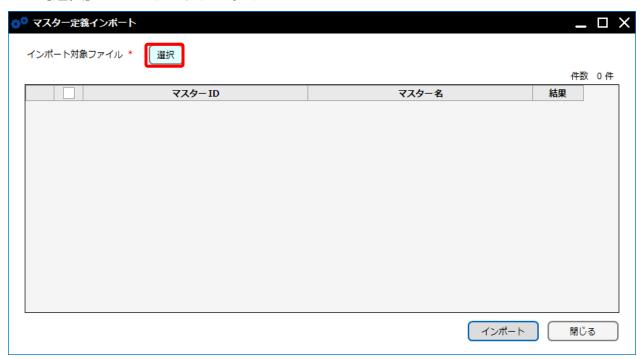
# マスター定義のインポート

エクスポートしたマスター定義を取り込みます。

### 1. [定義インポート] ボタンをクリックする

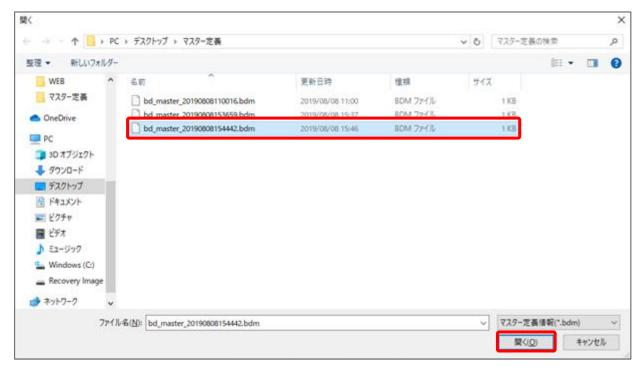


## 2. [選択] ボタンをクリックする



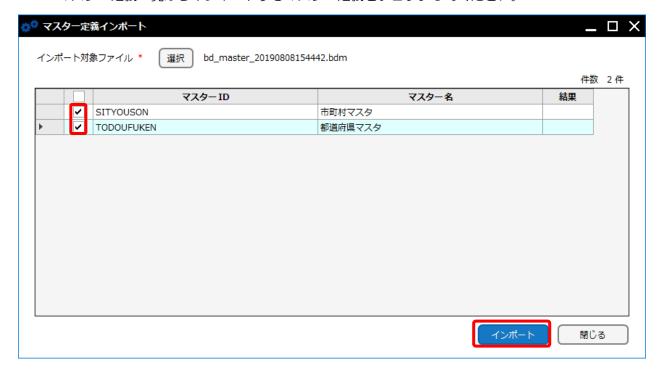
#### 3. インポートするファイルを選択する

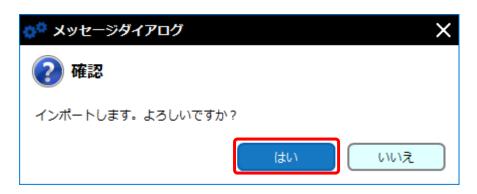
インポートするファイルを選択し、[開く]をクリックします。

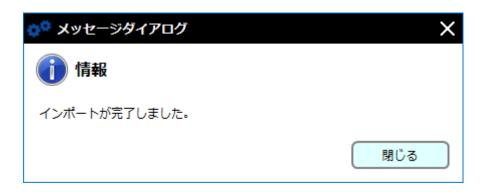


# 4. インポートするマスター定義を選択し、[インポート] ボタンをクリックする

マスター定義一覧からインポートするマスター定義をチェックしてください。



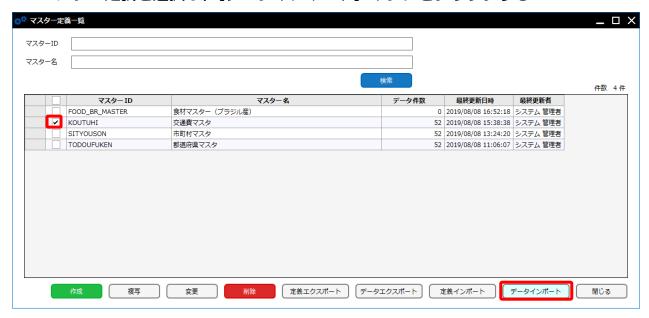




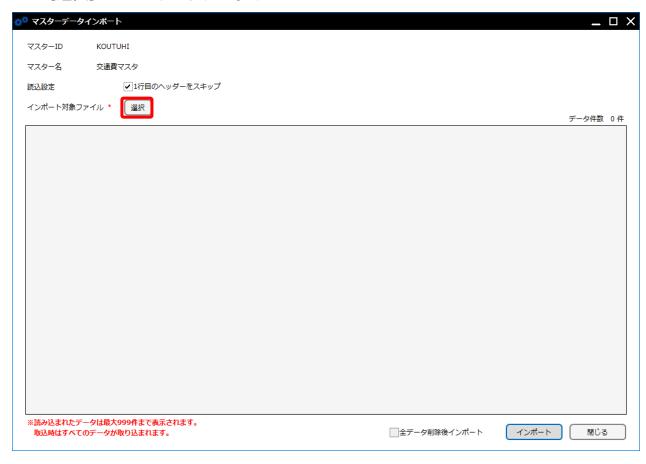
# マスターデータのインポート

エクスポートしたマスターデータを取り込みます。

#### 1. マスター定義を選択し、[データインポート] ボタンをクリックする

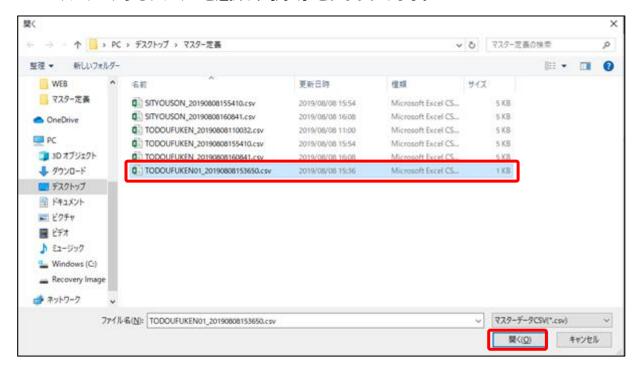


#### 2. [選択] ボタンをクリックする



#### 3. インポートするファイルを選択する

インポートするファイルを選択し、[開く]をクリックします。

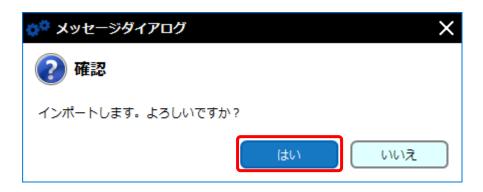


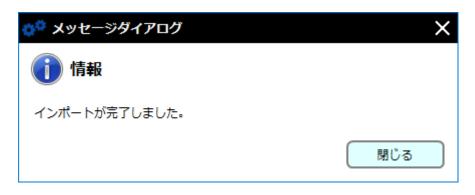
#### 4. [インポート] ボタンをクリックする



#### 【項目の説明】

No.	項目名	説明
1	読込設定	1 行目が項目名などである場合は、読込設定の「1 行目のヘッダーをスキップ」をチェックしてください。
2	全データ削除後イン ポート	すでに登録されているマスターデータをすべて削除してからインポートしたい場合は、「全データ削 除後インポート」をチェックしてください。





書 名:業務デザイナー 機能説明書(マスター定義編)

発行元:株式会社ユニオンシンク 発行日:2023年9月19日

©2023 Unionthink Co., Ltd.